



おきぎん 経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2012年3月27日

各位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第47回おきぎん企業動向調査」 (2012年1～3月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：喜瀬

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2012年4～6月期見通し)
 ～第47回おきぎん企業動向調査(2012年1～3月期)調査結果より～

I. はじめに

1. 調査の結果

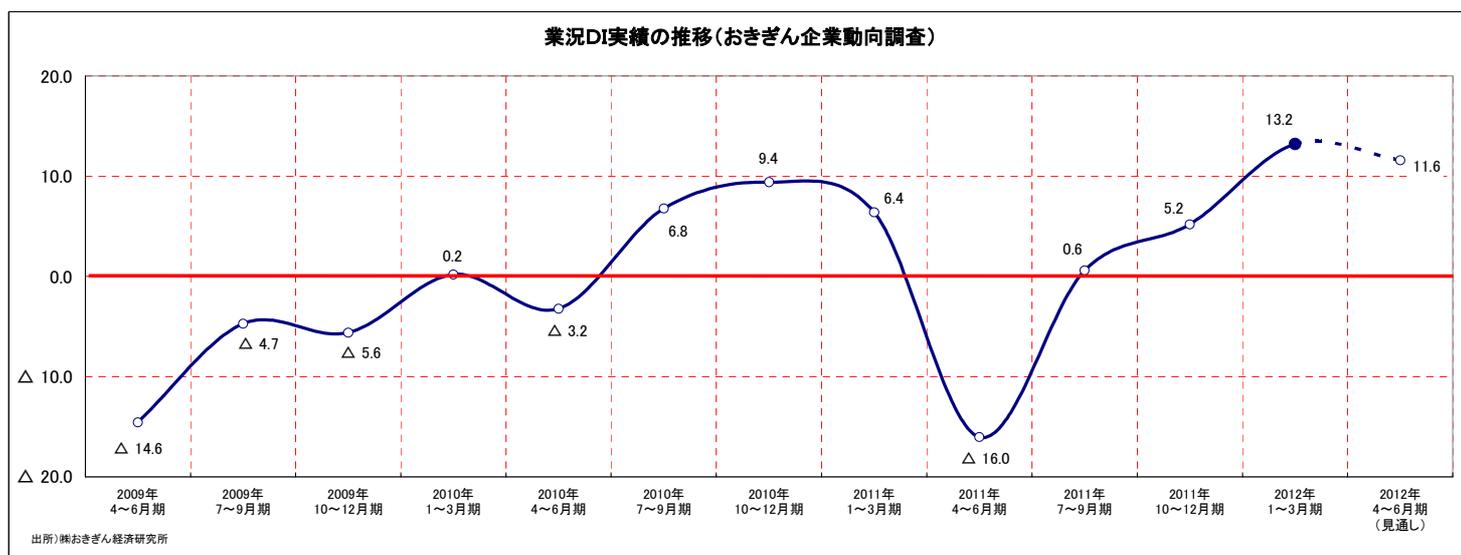
業況DIの推移

期間・結果	2011年				2012年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期(見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種計	6.4	△ 16.0	0.6	5.2	13.2	11.6
製造業	△ 8.9	△ 32.1	△ 37.3	△ 2.0	4.1	14.3
土木業	△ 6.5	△ 10.0	△ 5.6	0.0	17.4	13.0
建築業	17.4	△ 9.1	14.5	14.7	5.8	4.3
卸売業	△ 8.0	△ 27.0	△ 6.1	△ 2.2	7.1	9.6
小売業	0.0	△ 13.7	10.7	7.9	27.9	20.6
情報通信サービス業	38.5	22.2	8.3	37.5	50.0	25.0
医療・福祉	16.1	22.2	25.0	29.6	33.3	14.8
その他サービス業(宿泊・飲食等)	11.4	△ 48.6	0.0	5.9	△ 5.6	11.1
その他(不動産、運輸等)	19.4	△ 3.8	4.6	△ 3.9	15.6	7.8

2012年1～3月期調査の業況DIは13.2(前年同期比)となりました。

業種別でみると、【製造業】、【土木業】、【建築業】、【卸売業】、【小売業】、【情報通信サービス業】、【医療・福祉】、【その他】で「業況改善の動き」がみられます。一方、【その他サービス業】において「業況の弱さ」がみられます。

2012年4～6月期の業況見通しDIについては11.6となり、全業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



2. 調査の概要: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2012年2月下旬～3月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 443社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)
⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

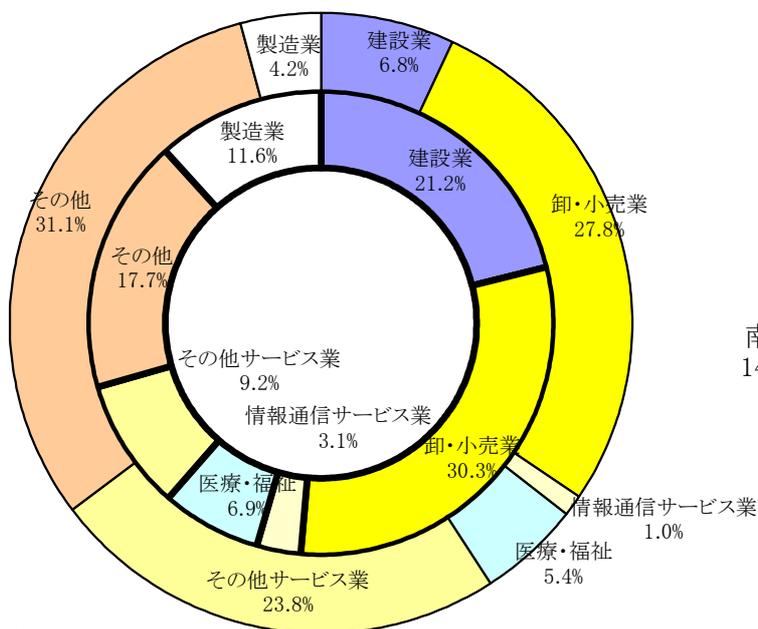
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

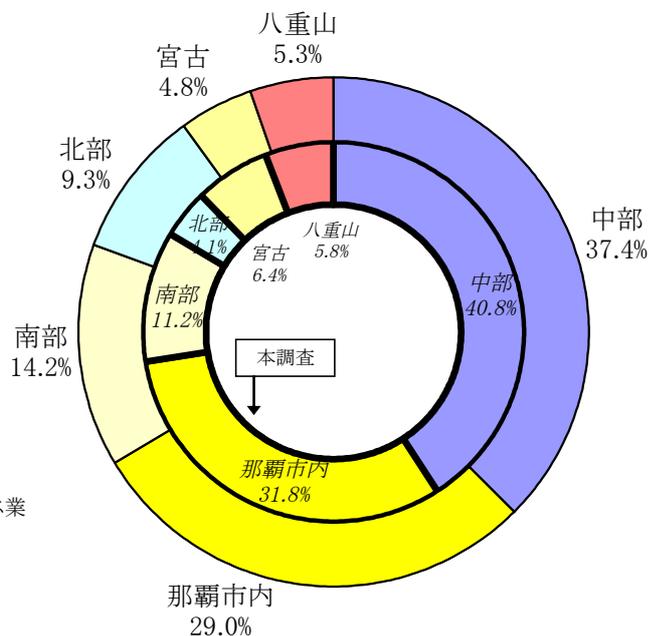
3. 調査対象企業の業種・所在地構成

県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2006年事業所・企業統計調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



県内の事業所所在地構成(外円)、
本調査の事業所所在地構成(内円)



資料)総務省、当行

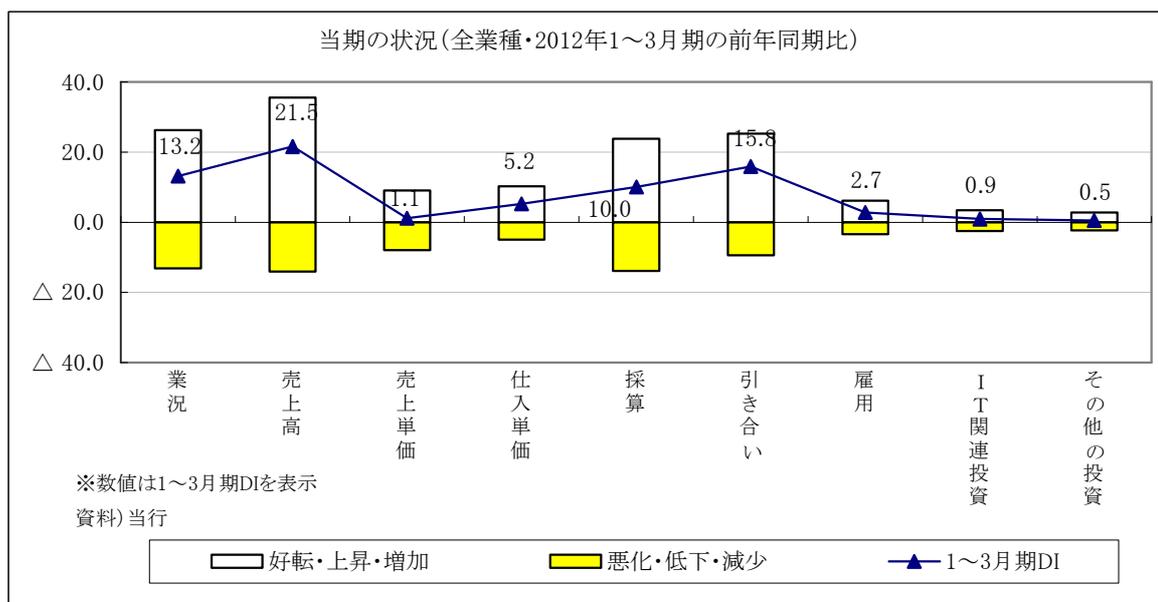
資料)総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

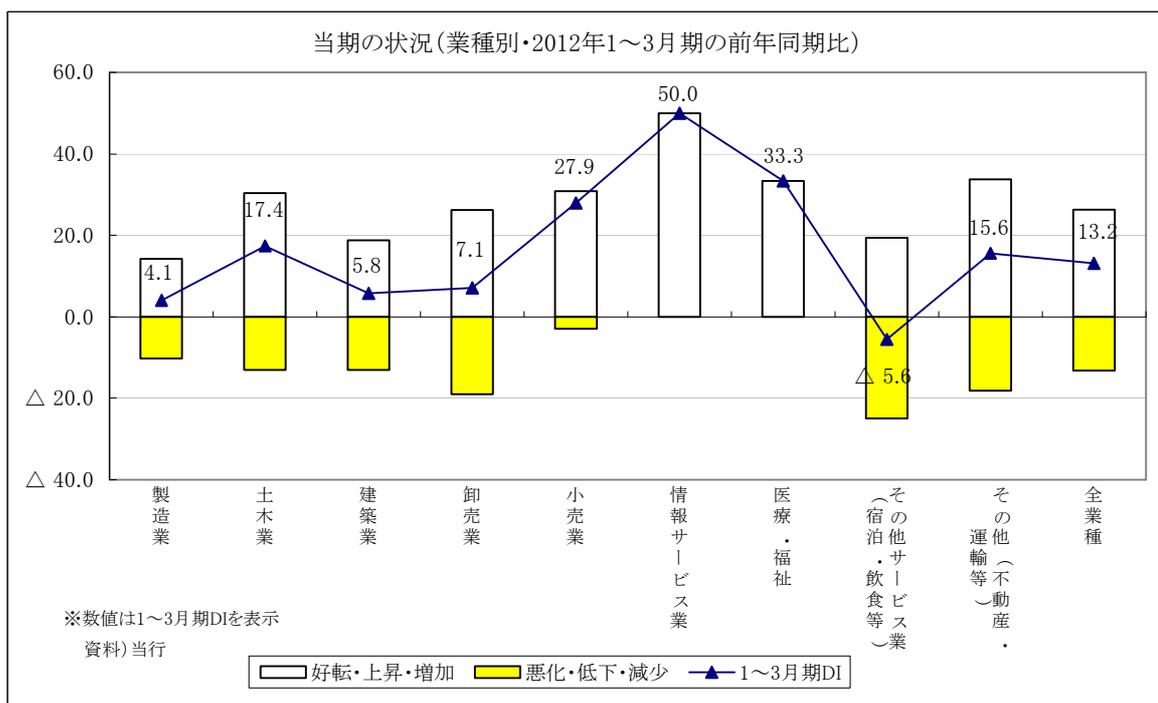
a. ①当期の状況(項目別・2012年1～3月期の前年同期比)

当期の業況DIを項目別で見ると、原油価格高騰などで仕入単価(5.2)は上昇していますが、東日本大震災の影響を要因とする前年の落ち込みからの回復により、売上高(21.5)、引き合い(15.8)などがプラスとなり、全体の業況(13.2)は改善の動きがみられます。



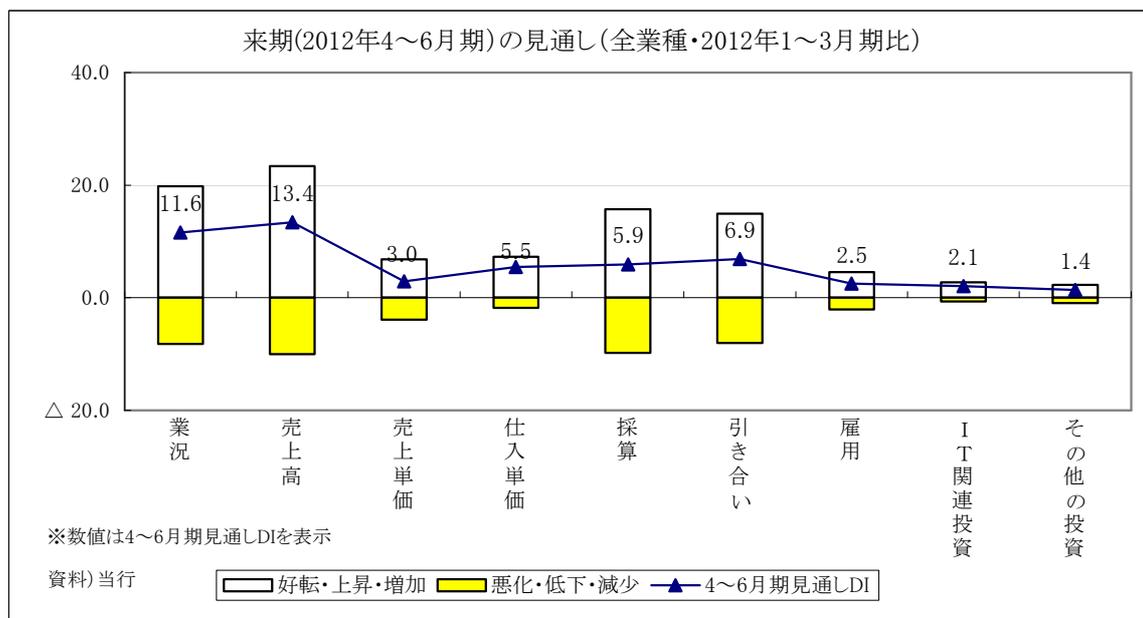
a. ②当期の状況(業種別・2012年1～3月期の前年同期比)

当期の状況を業種別で見ると、【製造業】(4.1)、【土木業】(17.4)、【建築業】(5.8)、【卸売業】(7.1)、【小売業】(27.9)、【情報サービス業】(50.0)、【医療・福祉】(33.3)、【その他】(15.6)は業況の改善動きがみられます。一方、【その他サービス業】(△5.6)は厳しい業況となっています。



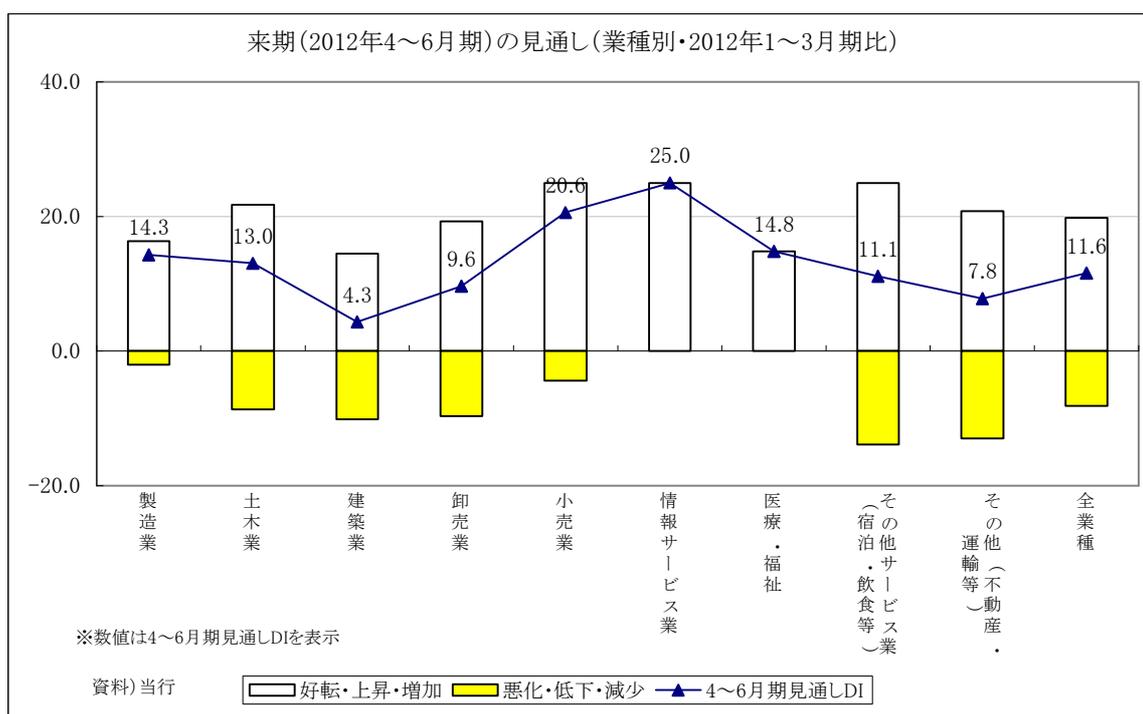
b.①来期の見通し(項目別・2012年4～6月期の2012年1～3月期比)

来期(2012年4～6月期)の見通しDIを項目別でみると、昨年の震災からの回復傾向が続くことや、季節的要因(観光シーズンの始まり)による増加が期待され、売上高(13.4)をはじめ、採算(5.9)、引き合い(6.9)など全ての項目がプラスとなり、全体(業況:11.6)として**業況改善の動き**が見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2012年4～6月期の2012年1～3月期比)

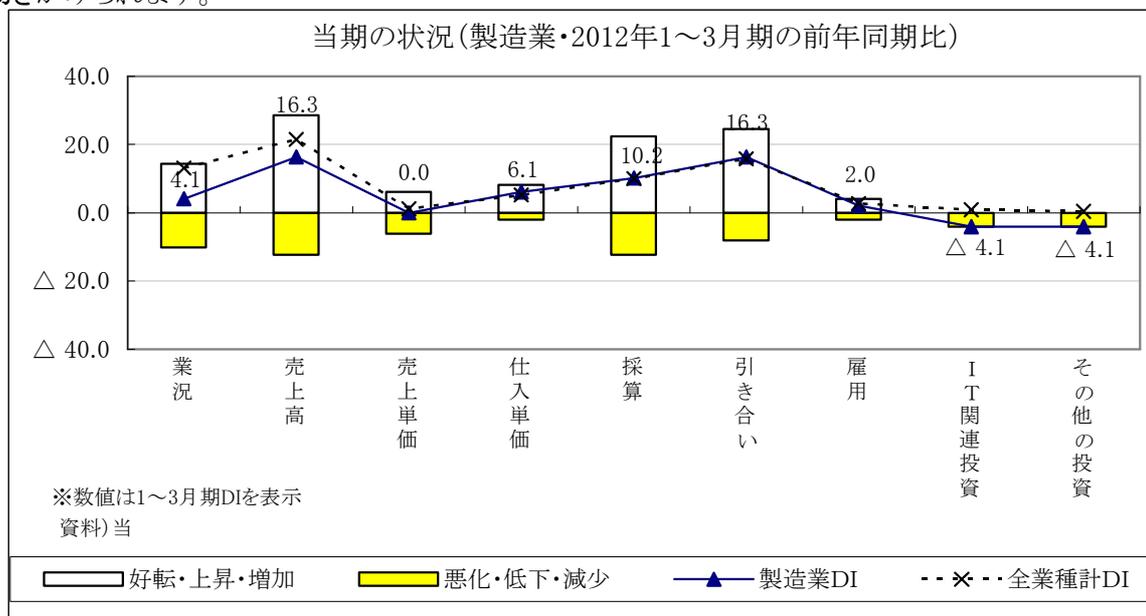
来期(2012年4～6月期)の見通しDIを業種別でみると、原油価格高騰による販売単価の見直しや観光客数増加の期待などから【卸売業】、【小売業】、【その他サービス業】で**好転**が期待され、全体として**業況改善の動き**が見込まれます。



2. 製造業

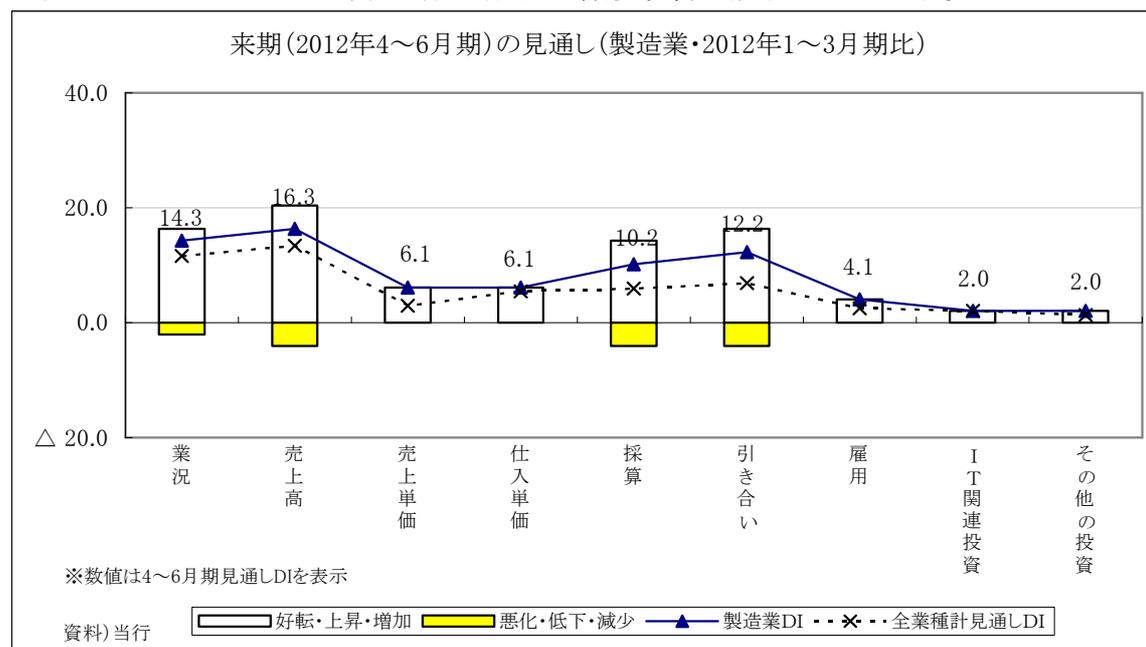
a. 当期の状況 (2012年1～3月期の前年同期比)

【製造業】DIをみると、IT・その他投資関連は前年を下回っているものの、震災からの回復などにより売上高(16.3)をはじめ採算(10.2)、引き合い(16.3)の項目がプラスで製造業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年4～6月期の2011年1～3月期比)

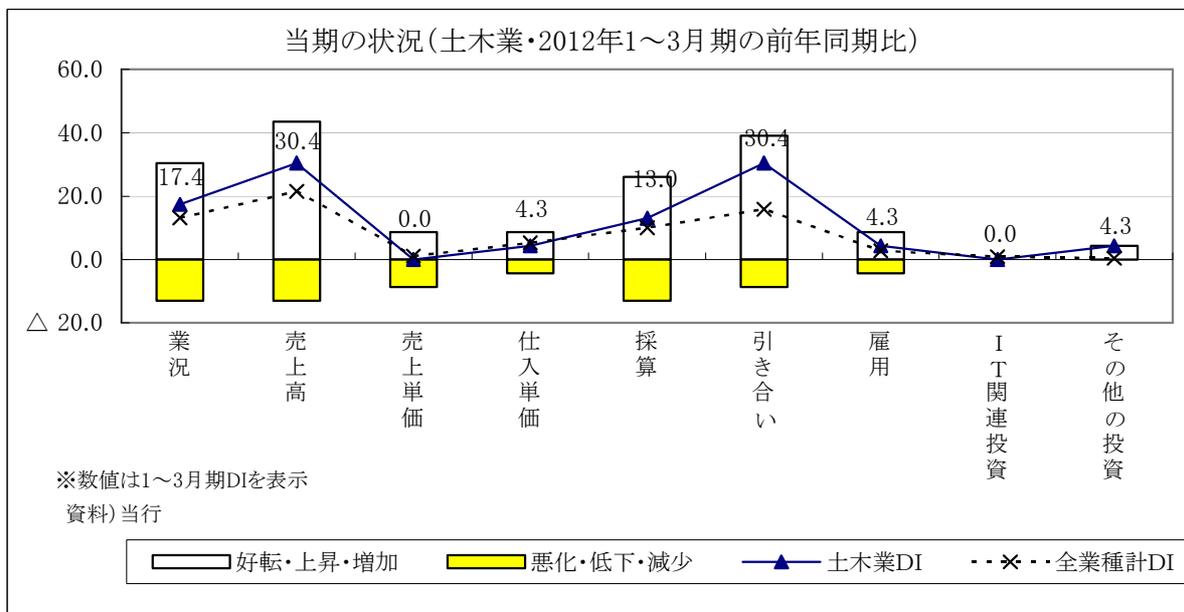
来期の見通し製造業 DI をみると、建設関連において一括交付金による引き合い増加、売上高増加が期待されます。また、観光シーズンにより観光関連の引き合いも増加が期待されます。各項目で全業種見通しDIを上回っており、製造業全体として**業況改善の動き**がみられます。



3. 土木業

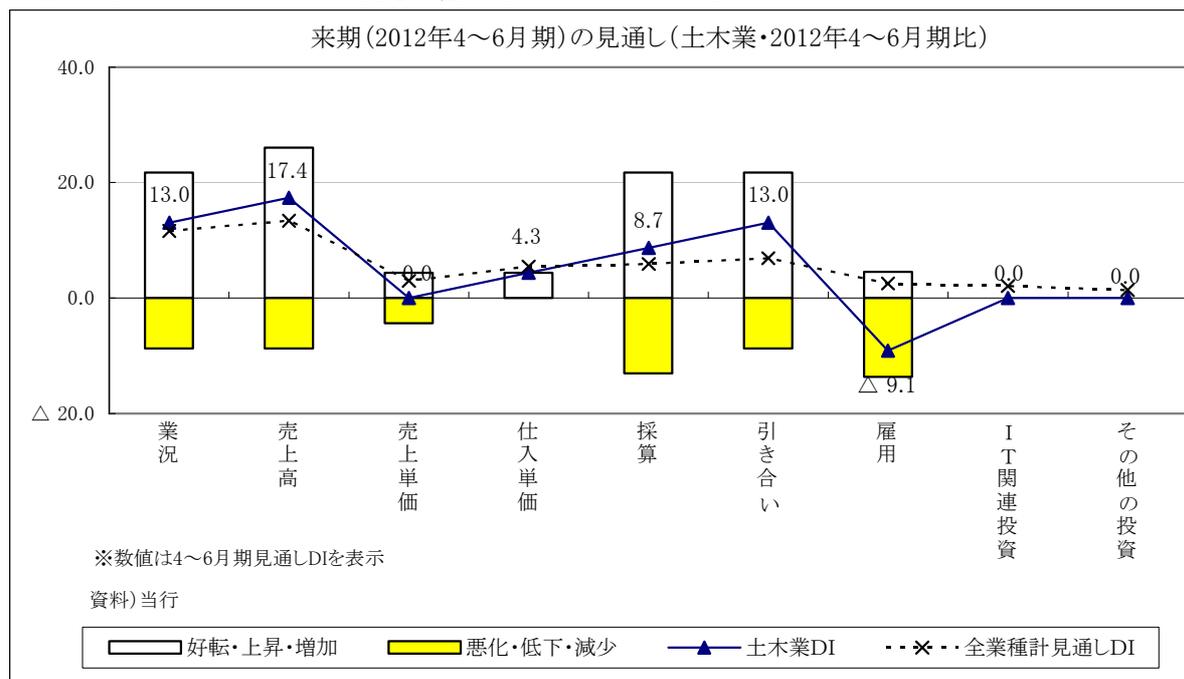
a. 当期の状況 (2012年1～3月期の前年同期比)

【土木業】DIをみると、受注環境は年々厳しさが増す中、営業強化などの企業努力により公共工事や民間工事の受注や売上高が増加し、各項目がほぼ全業種のDIを上回り、土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年4～6月期の2011年1～3月期比)

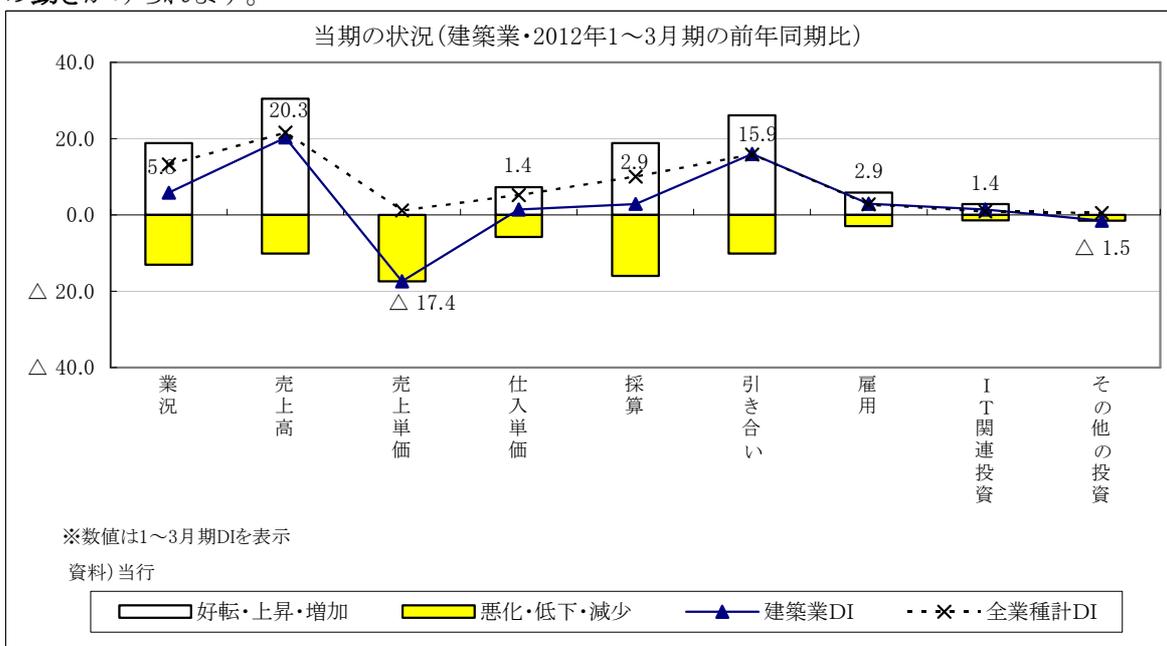
来期の見通し【土木業】DIをみると、4～6月期は公共工事が減少する時期ですが、営業強化などにより売上高や引き合いの増加が見込まれます。また、販管費などの経費削減により採算の好転も見込まれ、土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



4. 建築業

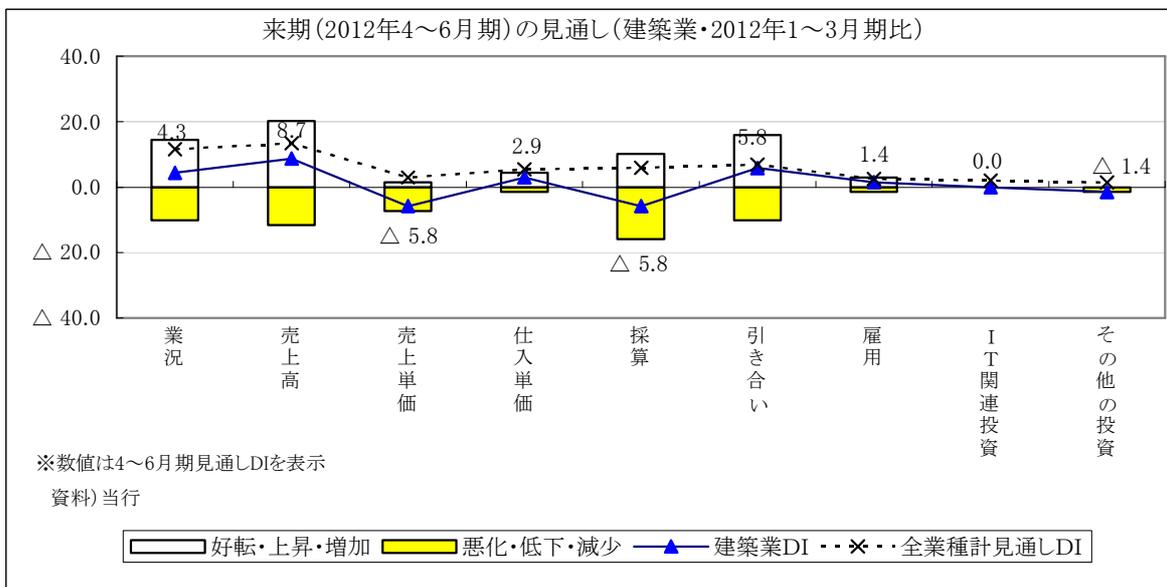
a. 当期の状況 (2012年1～3月期の前年同期比)

【建築業】DI をみると、同業他社との競争が激化したため売上単価が下落し、震災の影響により一部資材の品薄で仕入単価は上昇しています。一方で住宅・アパートなどの民間工事や公共工事の引き合いが増えており、売上高も増加、採算は若干のプラスとなっており、建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年4～6月期の2012年1～3月期比)

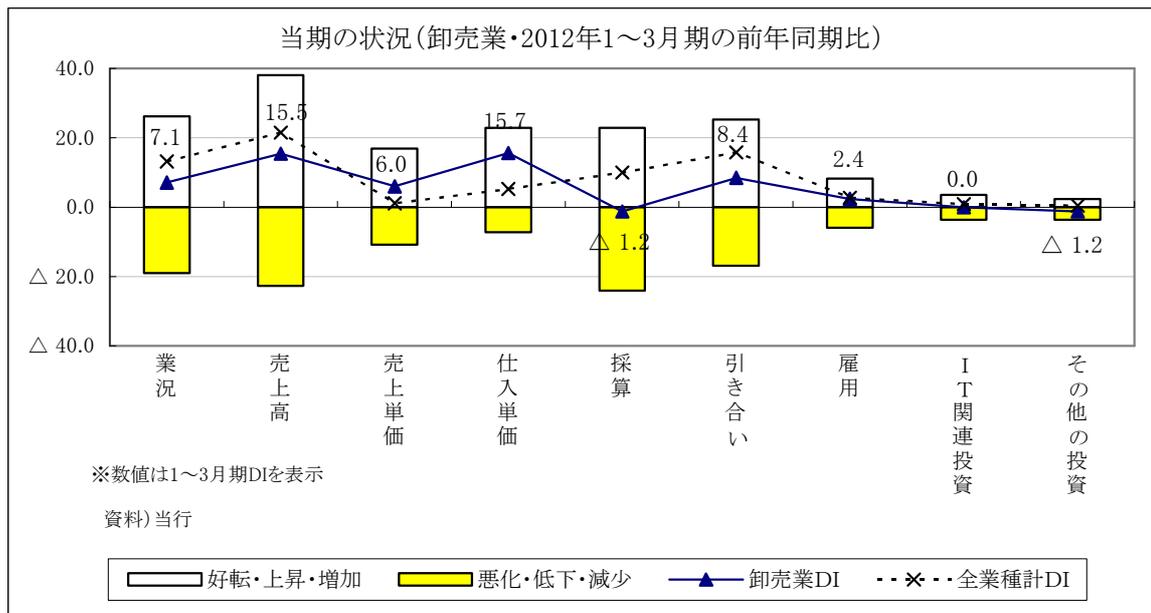
来期の見通し【建築業】DI をみると、公共工事が減少する4～6月は、工事案件獲得のための競争激化は続くと思われるほか、売上単価や採算が下落する見込みです。一方で、営業強化によるマンションやアパートなど民間工事の引き合い増加が期待されるほか、県外業者との取引拡大なども見込まれ、建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。



5. 卸売業

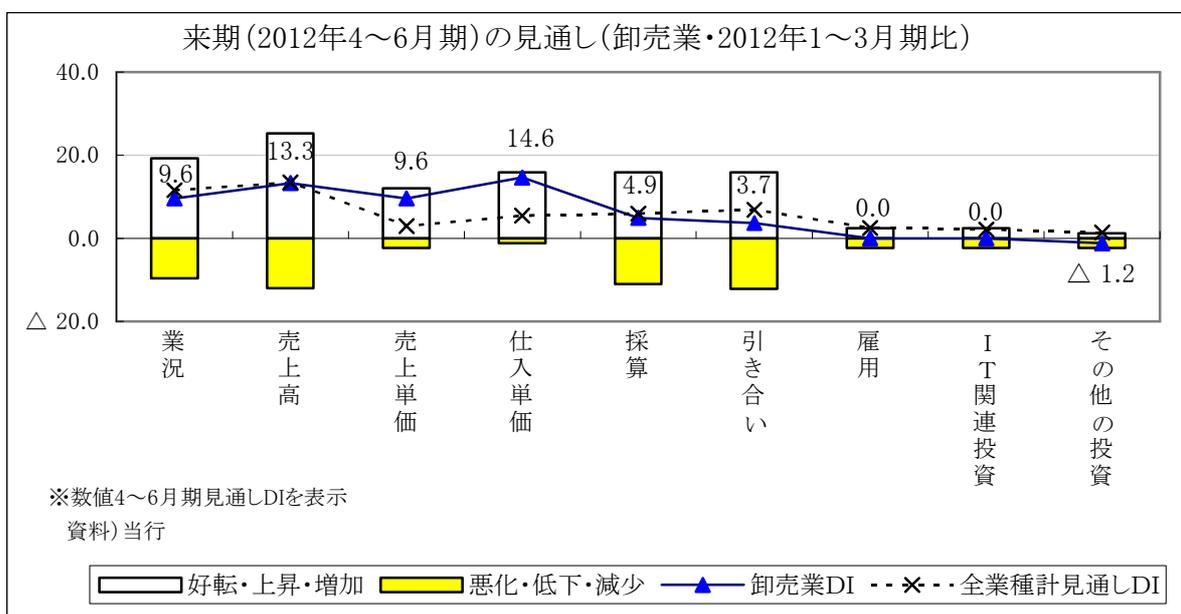
a. 当期の状況 (2012年1～3月期の前年同期比)

【卸売業】DI をみると、原油価格高騰による石油製品・紙類の仕入単価の上昇や、震災の影響で米などの一部業種で引き合い減少が見られ、採算がマイナスになっています。一方で前年同期は震災発生直後で仕入れ困難による売り上げの落込みが見られましたが、今期は仕入れ状況の回復(商品・ルート)により、売上高(15.5)はプラスとなり、卸売業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年4～6月期の2012年1～3月期比)

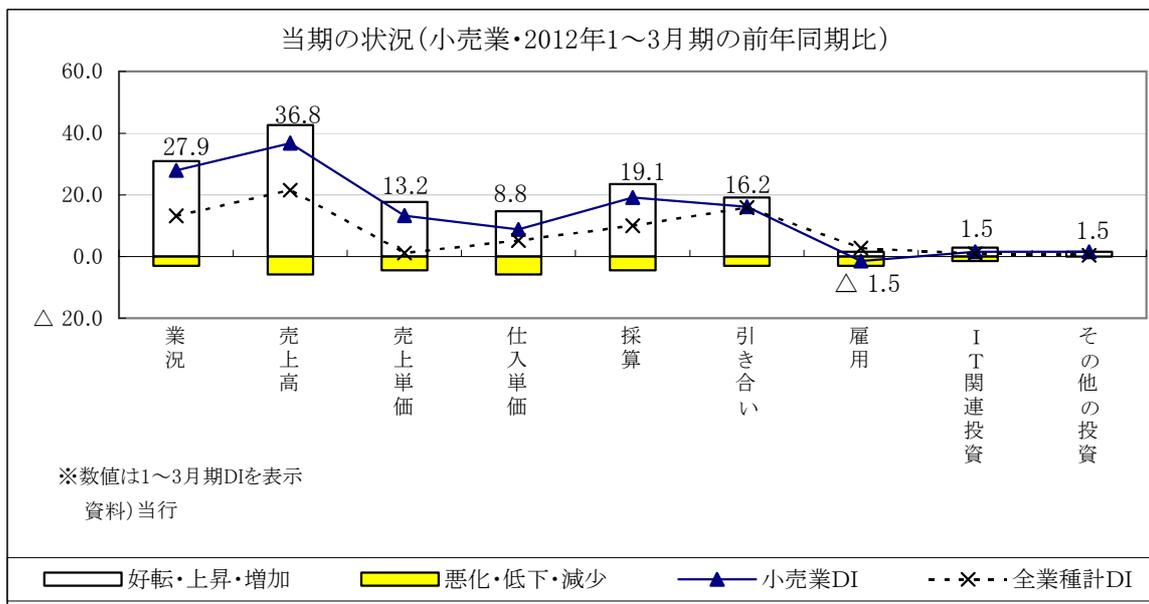
来期の見通し【卸売業】DI をみると、原油価格高騰により仕入単価の上昇が続くことが見込まれます。しかし、震災後の仕入れの安定化や、仕入単価上昇分の販売価格への転嫁、震災による県産商品への需要増加などにより、売上高増加が見込まれ、卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



6. 小売業

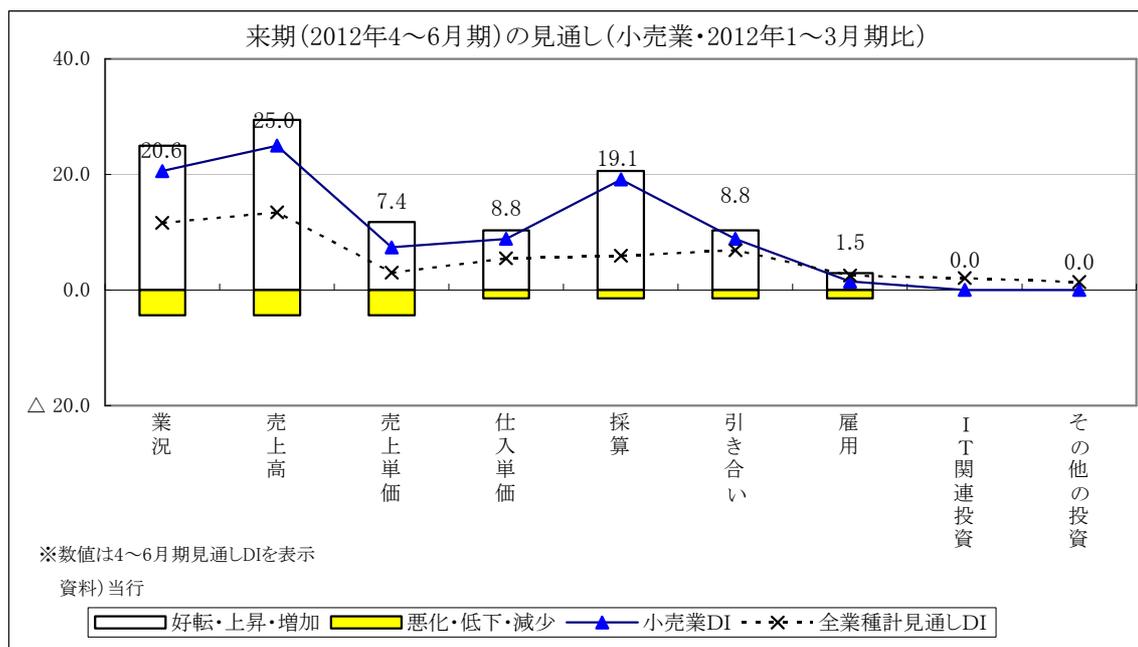
a. 当期の状況 (2012年1～3月期の前年同期比)

【小売業】DIをみると、前年の震災により減少した商品供給量の回復やプロ野球キャンプ効果による観光客数の回復で、売上増加がみられます。また、原油価格高騰を要因とする販売価格の見直しなどにより売上単価や採算は増加し、小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年4～6月期の2011年1～3月期比)

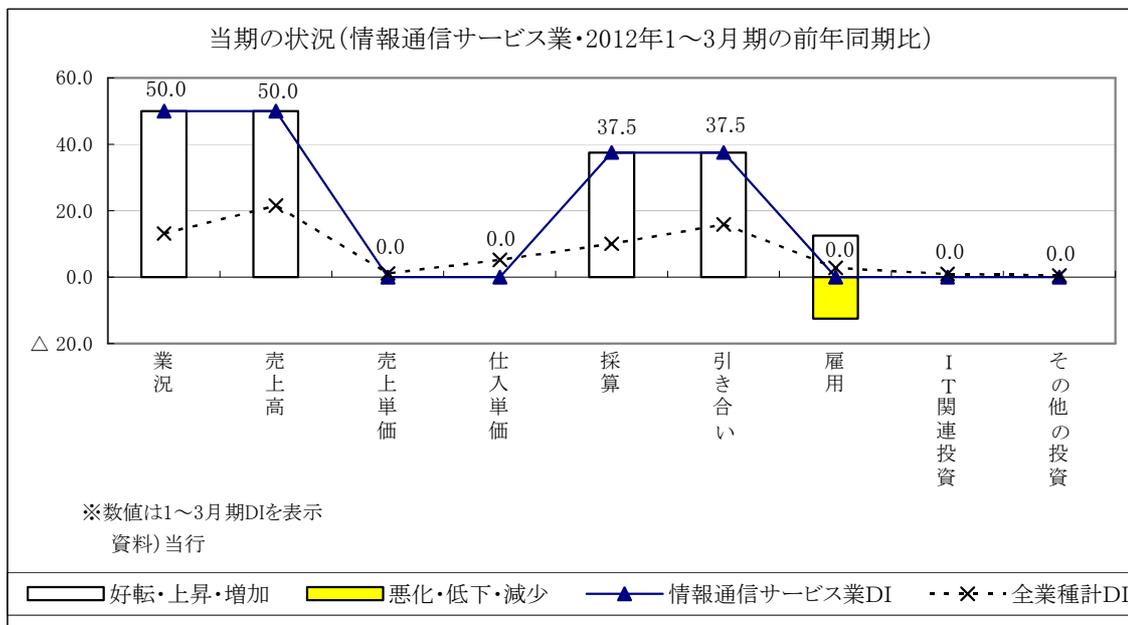
来期の見通し【小売業】DIをみると、ゴールデンウィークなどの観光シーズンにより観光土産品などが好調に推移すると期待されます。エコカー補助金復活や進学・就職シーズンの影響で自動車販売は増加が見込まれ、小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



7. 情報通信サービス業

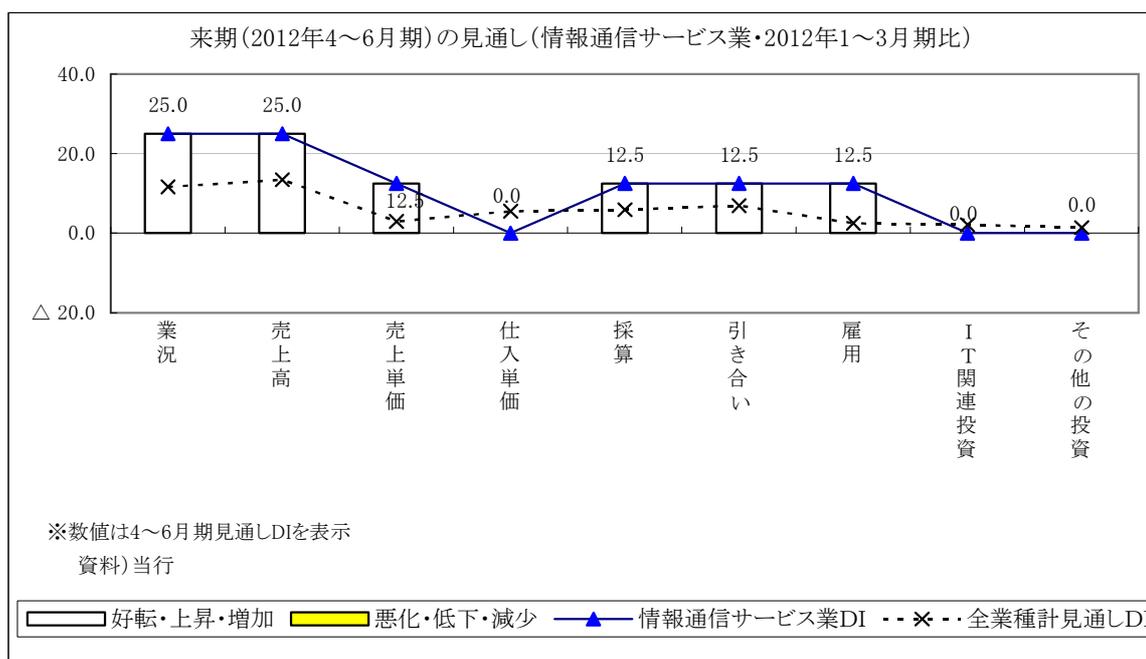
a. 当期の状況 (2012年1～3月期の前年同期比)

【情報通信サービス業】DIをみると、引続き震災対策による市町村・学校など防災関連システム導入の引き合いが増加しています。震災による前年の広告収入減少からの回復などにより、売上高、採算は増加し、情報サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年4～6月期の2012年1～3月期比)

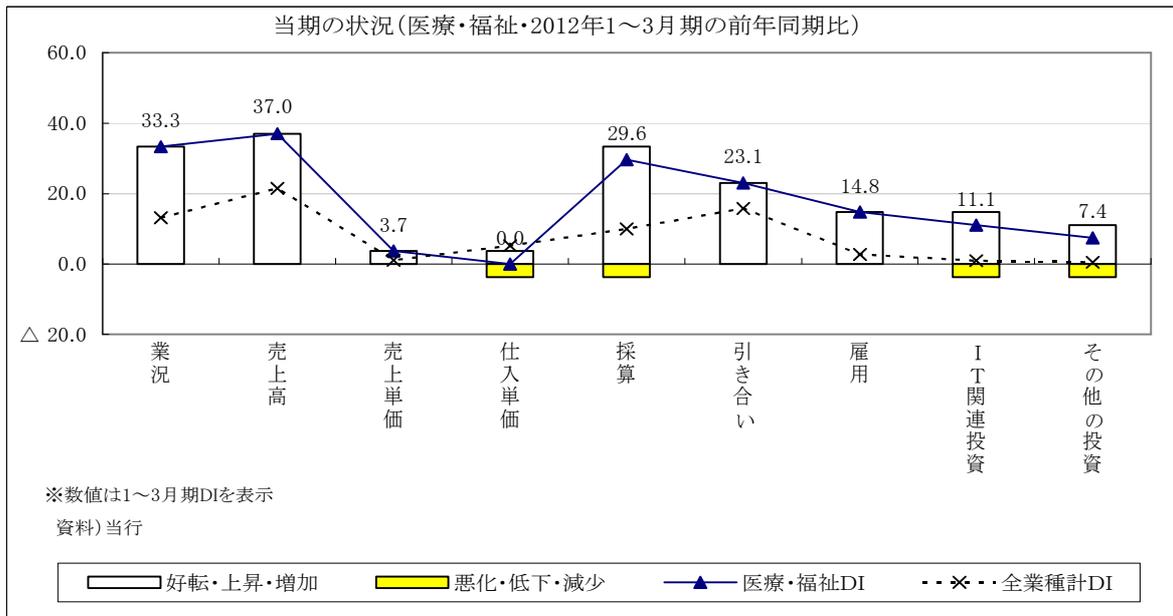
来期の見通し【情報通信サービス業】DIをみると、前期に引き続き、震災関連の情報システム受注の増加など、通信・放送・情報サービス業の回復が期待されます。また、人件費削減などにより採算の増加も見込まれ、情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



8. 医療・福祉

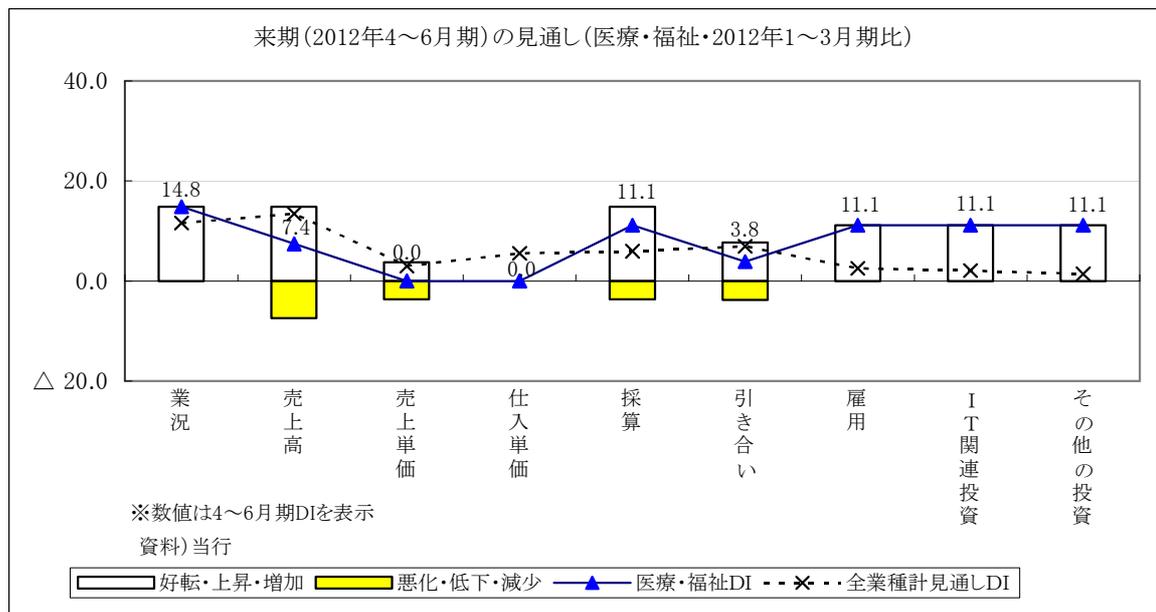
a. 当期の状況 (2012年1～3月期の前年同期比)

【医療・福祉】DIをみると、医療施設の経営環境は引続き堅調に推移し、新設や増設する施設投資の動きが見られます。新施設開設やインターネットによる予約対応で引き合いは増加しています。高齢者賃貸住宅の安定した収益により採算なども増加しており、各項目がほぼ全業種DIを上回り、医療・福祉全体としては**業況の堅調さ**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年4～6月期の2012年1～3月期比)

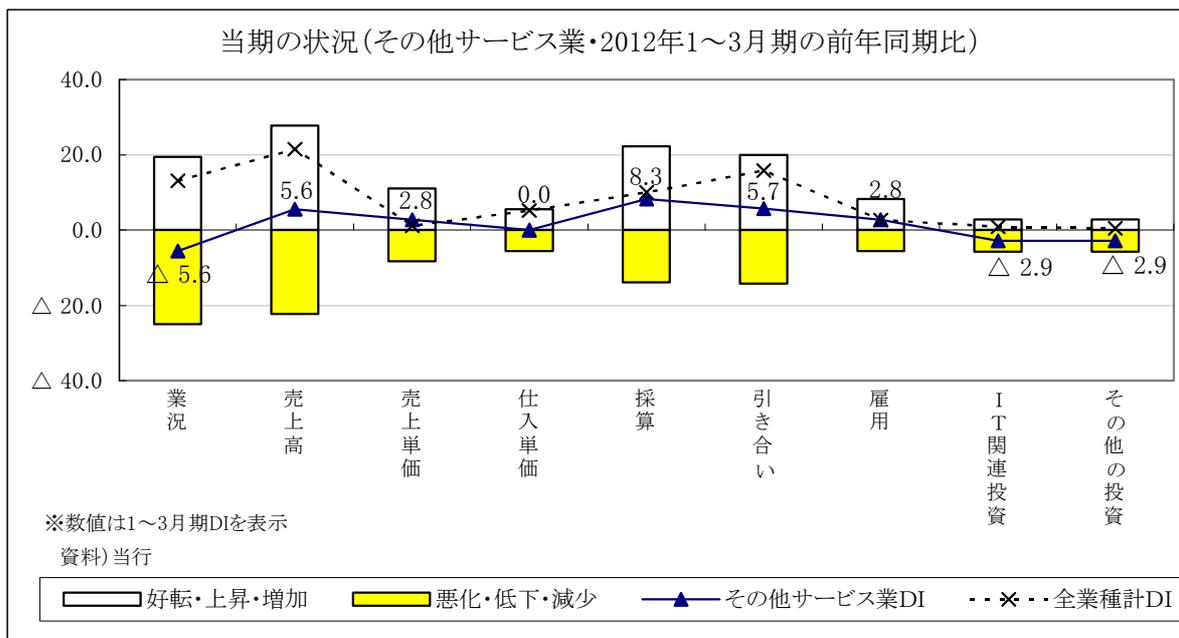
来期の見通し【医療・福祉】DIをみると、高齢者専用賃貸施設の新設や医療施設の増設などによる売上効果が期待されます。また、人口増加や高齢化を背景に今後も売上高や採算は増加すると見込まれ、医療・福祉全体として引続き**業況の堅調さ**がみられます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、映画館、結婚式場、教育関連等)

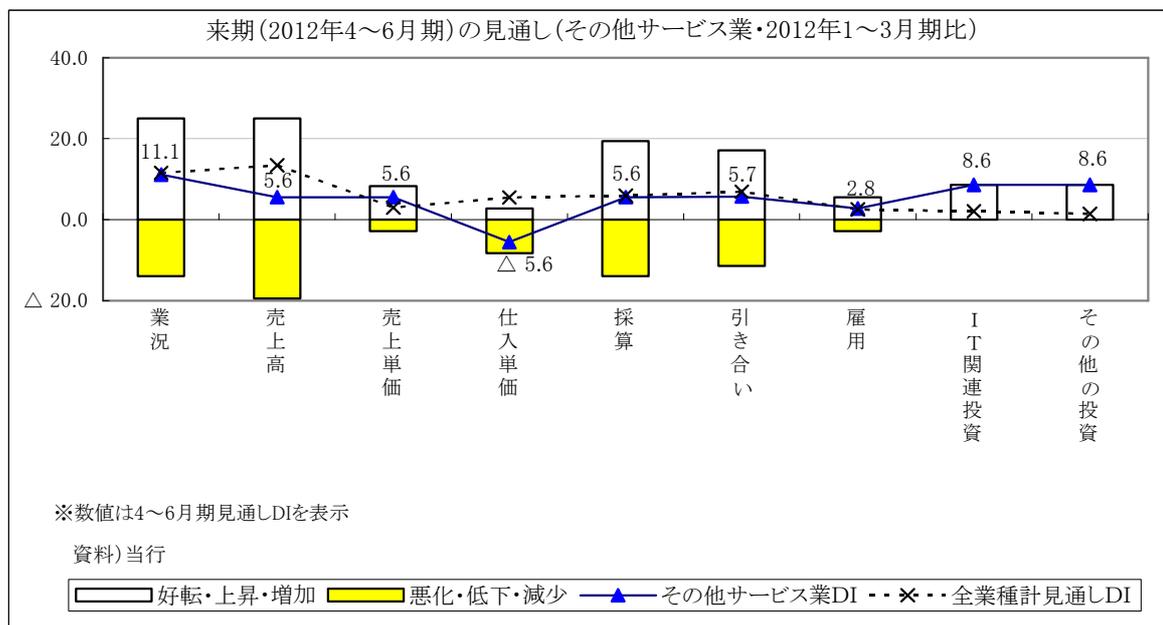
a. 当期の状況(2012年1~3月期の前年同期比)

【その他サービス業】DIをみると、営業強化や新チャペル開設などによるホテルの県外団体客増加により売上高や引き合いは増加していますが、宿泊施設の増加に伴い、客室料金下落の声も聞かれます。自動車学校は少子化などによる免許取得者の減少や県外学生の利用減少により売上、採算、引き合いなどが全業種計DIを下回り、その他サービス業全体としては**業況の弱さ**がみられます。



b. 来期の見通し(2012年4~6月期の2012年1~3月期比)

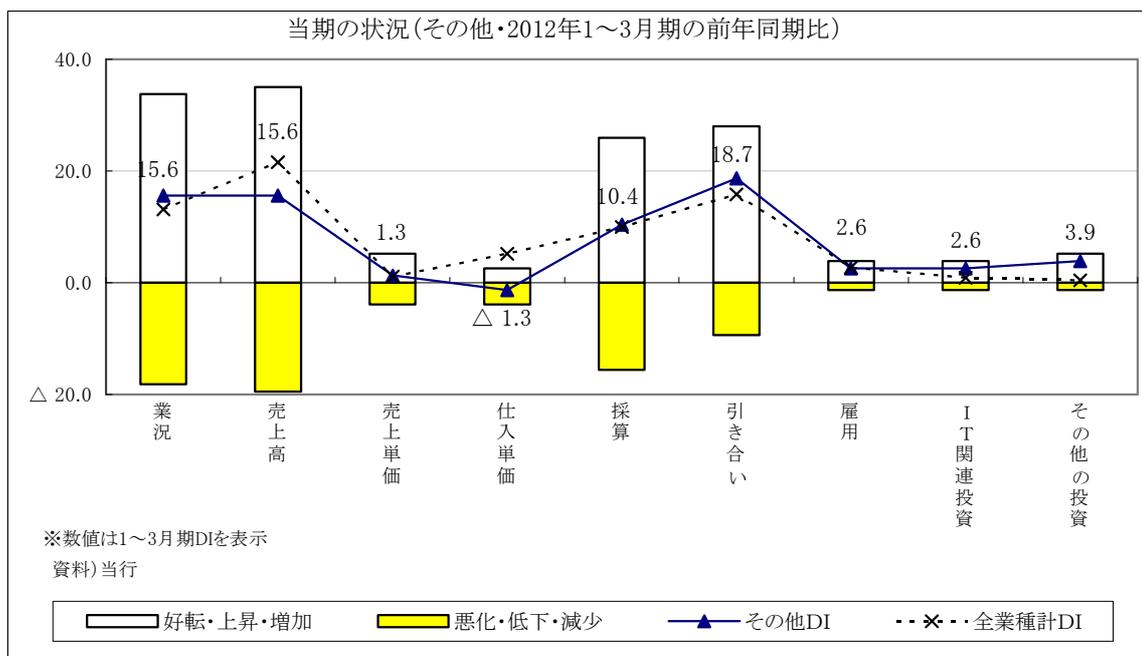
来期の見通し【その他サービス業】DIをみると、観光シーズンであることからホテル団体客の回復などにより、売上高、売上単価、採算、引き合いの増加が期待されます。施設リニューアルや新規工場稼働によりIT関連・その他の投資の増加も見込まれ、その他サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

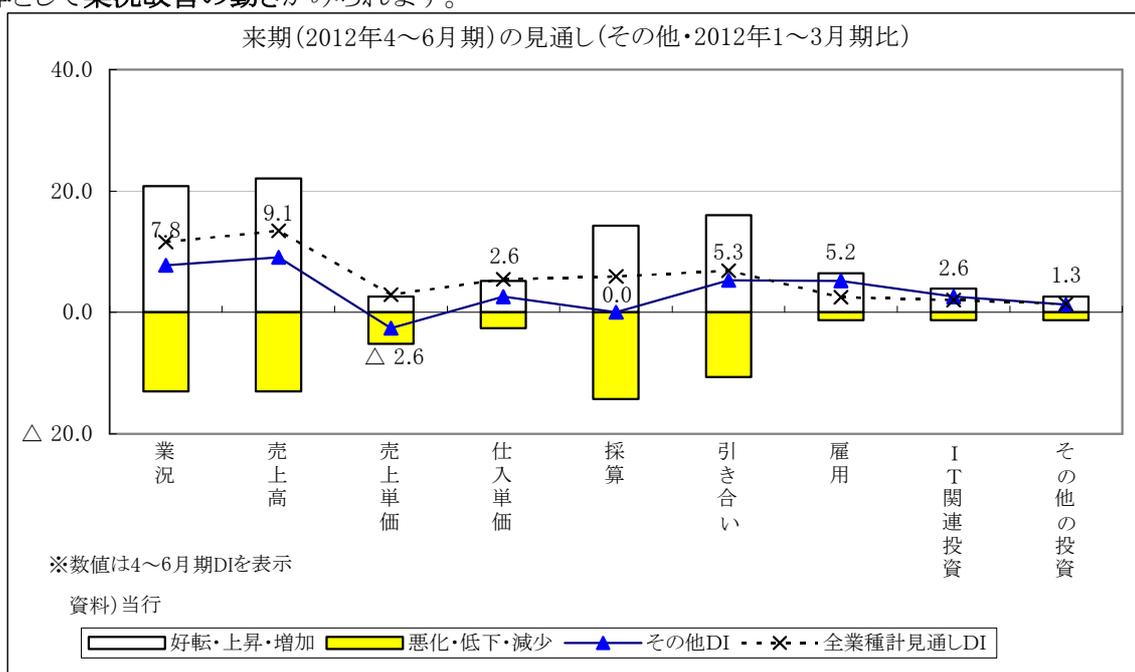
a.当期の状況(2012年1~3月期の前年同期比)

【その他】DIをみると、前年は震災の影響により運輸・不動産で業況が悪化したものの、今期は順調に回復し、売上高、採算、引き合いなどが増加しています。リース業の競争激化により売上単価は伸び悩んでいますが、民間住宅やアパートの建築増加により設計業は売上高、引き合いが増加し、その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b.来期の見通し(2012年4~6月期の2012年1~3月期比)

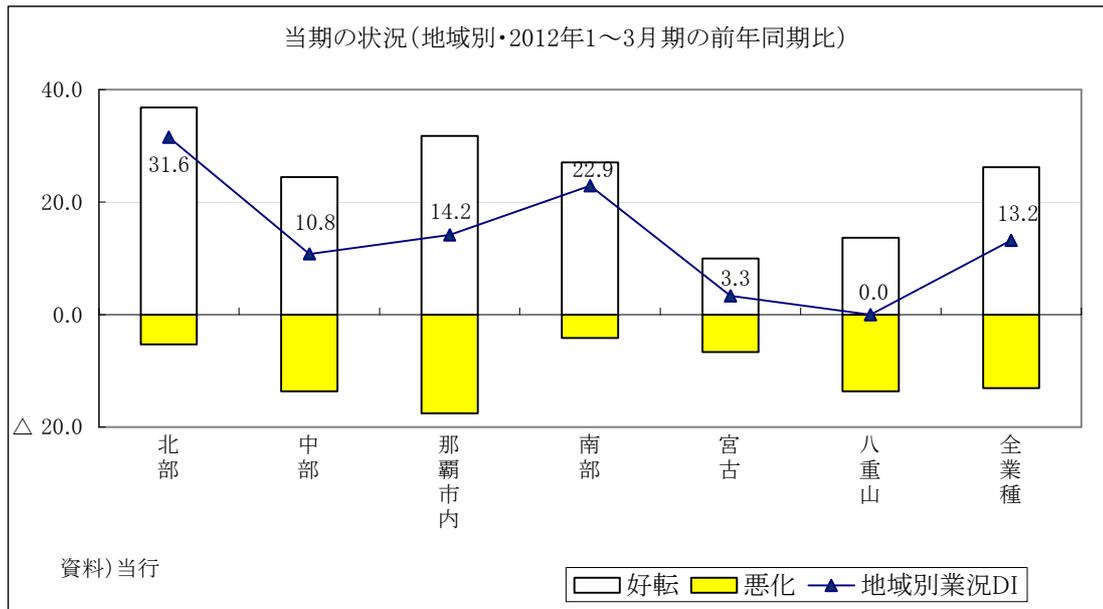
来期の見通し【その他】DIをみると、工事受注減少による測量・設計の売上単価下落が見込まれるものの、季節要因(新年度)により不動産や教育関連で引き合いや売上増加が見込まれ、その他全体として**業況改善の動き**がみられます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

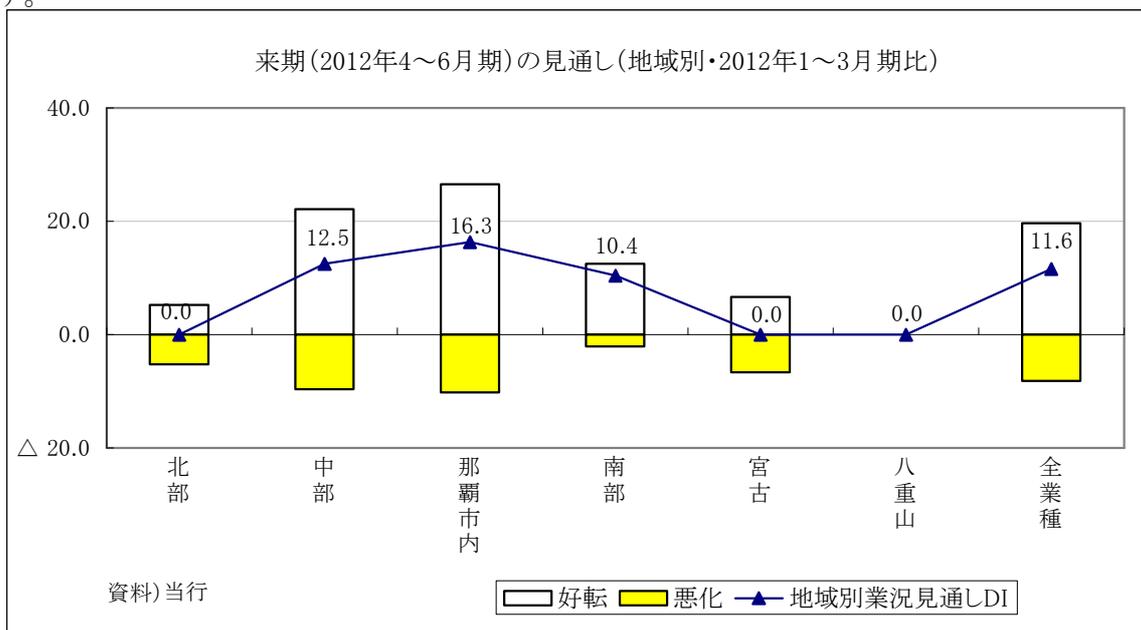
1. 当期の状況(2012年1～3月期の前年同期比)

地域別業況DIをみると、公共工事を中心とした建設関連需要増加の影響で本島全域で好転しました。また、那覇市内では震災からの回復などにより卸売業、運輸、観光関連(小売・ホテル)も需要増加により改善がみられます。一方、八重山は天候不良による観光サービス業関連の悪化や建設業の本島業者との競合などにより横ばいとなっています。



2. 来期の見通し(2012年4～6月期の2012年1～3月期比)

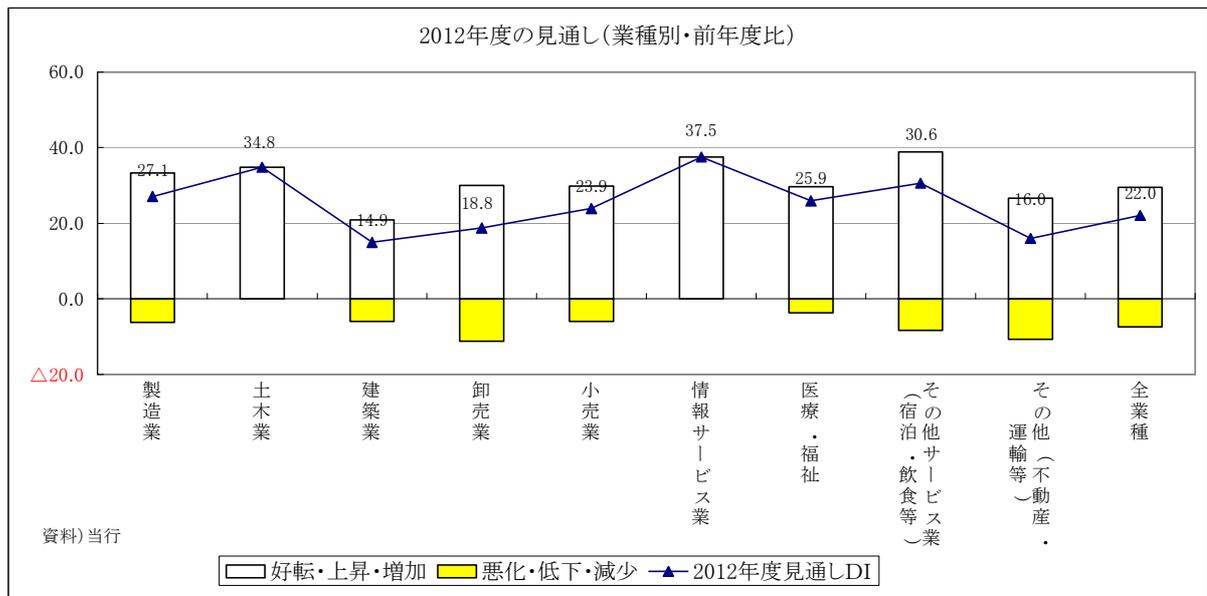
来期の業況見通しDIをみると、中部では公共・民間工事の受注見込み、那覇市内は観光シーズンにより小売業、卸売業、その他サービス業の売上高や引き合いの増加などで好転が見込まれています。北部・宮古・八重山は公共工事減少により横ばいで、全業種DIは好転(11.5)が見込まれています。



IV.調査結果(3) ～2012年度の見通しDI (2011年度比)～

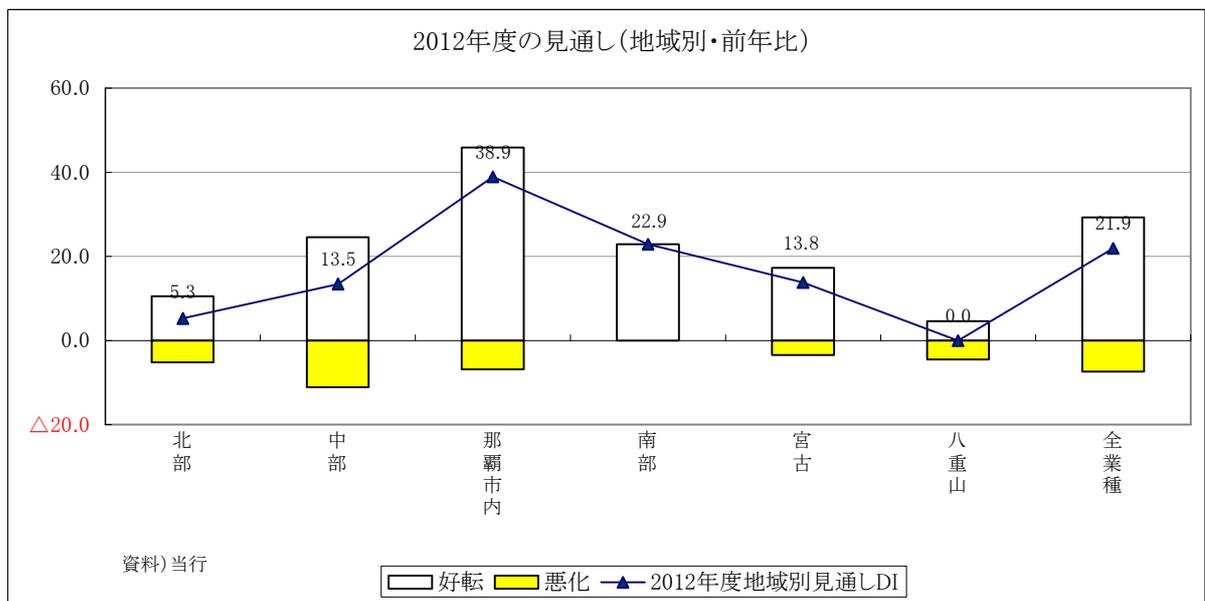
1.業種別見通し

2012年度見通しDIをみると、前年度の東日本大震災による観光客数の落込みからの回復を見込み、製造業、小売業、その他サービス業などで改善が見込まれます。また、沖縄県の一括交付金による公共工事の増加への期待などから、土木業、建設業、卸売業、その他で好転し、全体として、2011年度と比較し業況改善の動きが見込まれています。



2.地域別見通し

2012年度の地域別見通しは、本島及び宮古で業況改善の動きが見られます。特に那覇市では、建設関連において一括交付金による公共工事の発注増加が期待され、好転が見込まれています。八重山では本島業者との競合などにより横ばいとなっていますが、全体的に震災からの売上回復などにより好転(21.9)が見込まれます。



V.まとめ

【当期業況DI】

- ① 当期（2012年1～3月期）の業況DI調査の結果は13.2と、様々な業種において震災による昨年の業況悪化からの回復がみられる結果となりました。
- ② 観光関連産業は、プロ野球キャンプ効果で国内客が順調だったことや、中国の春節連休効果などにより外国客も好調で、観光客入域客数が1月＝0.9%増、2月＝4.0%増（いずれも前年同月比）と順調に推移しており、改善の動きがみられました（5ヶ月連続の前年越え）。
- ③ 建設関連では、季節的要因（年度末）による公共工事や民間工事の受注が順調で建築業、製造業、土木業、卸売業なども業況改善の動きがみられました。
- ④ また、卸売業においては、原油価格高騰を背景とする石油製品や紙類の仕入れ単価の上昇や、震災の影響で米の一部商品の引き合いの減少などが見られますが、卸売業全体の業況は前年に比べ商品供給が安定していることから好転しています。
- ⑤ 震災以降、入域観光客の回復や商品仕入状況の回復などにより小売業、卸売業の改善がみられ、医療・福祉関連も需要が続き順調に推移しています。
- ⑥ 一方、その他サービス業では自動車学校の引き合い減少などにより業況の弱さがみられますが、それ以外の業種は、総じて2012年1～3月期は改善の動きがみられる業況となりました。

【来期の見通しDI】

- ① 来期（2012年4～6月期）の見通しDIについては、11.6ポイントとなりました。当期（2012年1～3月期）より改善されることが期待されています。
- ② 観光関連では、ゴールデンウィークなどの観光シーズンに突入することから、前年の震災による自粛ムードの反動やLCC路線拡充により国内客の増加が期待されます。また、数次ビザ効果などによる海外客の堅調な増加も期待されます。
- ③ 建設関連においては、時期的要因（新年度）による公共工事の減少が懸念されるものの、一括交付金による工事発注増加が期待されます。
- ④ また、エコカー補助金復活や住宅エコポイント再開など、政府の政策効果も期待されます。
- ⑤ 一方で、中東情勢の不安定から原油価格高騰の長期化による各業種への影響も懸念されるため、その動向が注目されます。

